

第 19 回日本独文学会・DAAD 賞選考結果について

第 19 回日本独文学会・DAAD 賞が下記のように決定しましたので、お知らせいたします。

日本語研究書部門：

福元圭太『賦霊の自然哲学—フェヒナー，ヘッケル，ドリーシュ』（九州大学出版会，2020 年）

金志成『対話性の境界—ウーヴェ・ヨンゾンの詩学』（法政大学出版局，2020 年）

日本語論文部門：

菅利恵「市民，人間，世界市民—ヴィーラントのコスモポリタニズムと市民的公共圏」（『ドイツ文学』160 号）

ドイツ語研究書部門：

Mariko MORISAWA（森澤万里子）：Relativsatzeinleitungen in der Nürnberger Stadtsprache aus dem 16. Jahrhundert. Eine historisch-soziolinguistische Analyse. Peter Lang, 2020.

Daisuke YANAGIBASHI（柳橋大輔）：Metaphorologie des Kinos. Sprachbilder und Intermedialität im literarischen Kinodiskurs der Klassischen Moderne. transcript, 2020.

ドイツ語論文部門：

該当なし。

次の方々に選考委員をお願いしました。(敬称略)

日本語部門 委員長：大宮勘一郎

委員：河崎靖，川島建太郎 (DAAD 推薦)，杵渕博樹，細見和之，安川晴基

ドイツ語部門 委員長： 糸川麻里生

委員：生駒美喜，林明子，藤井明彦，Thomas Pekar (DAAD 推薦)